

令和7年度 農作業安全研修資料

農作業安全トピック

1 シートベルト着用義務化

農耕作業用特殊車の死亡事故は転倒・転落によるものが多く、特に乗用型トラクターの死亡事故が多い状況を受け、道路運送車両の保安基準改正により、乗用型トラクターで道路を走行する際には、シートベルト着用が義務化されることとなりました。

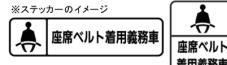


令和9年1月1日 からです



令和9年1月1日以降に製造された座席を有するトラクターは、大型特殊自動車・小型特殊自動車に限らず対象車となります

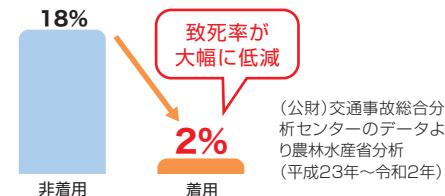
対象のトラクターには、ボンネット側面に座席ベルト着用義務車を示すステッカー*が貼付されます。



シートベルトの着用義務違反として、交通違反の点数1点が付されます

- ✓ 義務化の対象となるトラクター以外でもシートベルトを着用しましょう！
- ✓ 義務化が始まる前に、今から習慣付けをしていきましょう！

農耕作業用特殊車における事故時のシートベルト着用状況別致死率



座席ベルト着用は、農耕作業用特殊車の死亡事故率低下に有効



安全キャブ・フレームと座席ベルトで安全域にとどまることが可能

2 農業機械安全性検査

農業機械安全性検査とは、メーカーからの依頼により、農業機械の安全性に関する専門家である農研機構が検査する制度です。農研機構が原則として農業機械や農業施設等の実機を確認しながら安全性が確保されているかどうかを検査し、合格した農業機械等には、安全性検査証票が貼付されています。



農用トラクター(乗用型/歩行型)、田植機(乗用型)、コンバイン(自脱型)、乾燥機(穀物用循環型)



- ✓ 国際安全規格との整合性をとり、海外と同程度の安全性を確保
- ✓ 事故の状況や時代に応じて、検査基準の見直しを実施
- ✓ 合格機には以下の証票が添付され、安全性が確認された機械を公表



対象機種の農業機械の更新を検討している方は、上記証票が貼付されたものを購入してください！

ご自身の農機を確認しましょう！

令和6年度までの安全性検査証票は以下のマークです。

この証票や左記の証票が貼付されているか、ご自身の農機をご確認いただき、ついていない場合は、新しい証票が貼付されている機械への買い替えをご検討ください！



2018年/2019年基準に合格した安全性検査証票

農業機械安全性検査の基準の詳細についてはこちらの二次元コードからご確認いただけます



農業機械安全性検査の合格機についてはこちらの二次元コードからご確認いただけます



※本研修資料を活用した「農作業安全に関する指導者」による研修の受講は環境負荷低減のクロスコンプライアンスのうち「正しい知識に基づく作業安全に努める」に該当します。

乗用型トラクター

農作業安全クイズ

問 題

- 1 乗用型トラクターの降車時に、両手で手すりをつかめるときには、前向きに降りてもよい。これは正しいですか、○か×で回答してください。



- 2 トラクターの整備・点検について、以下のうち正しいものはどれですか。

※正解は1つまたは2つです。

1. 作業機の付け替えをするため、最初に3点リンクを外し、次にユニバーサルジョイントを外した。
2. 作業機の点検整備をする際に、油圧ロックをかけたので、スタンドなどを使わずに、作業機の下に潜つて作業した。
3. トラクターにエンジンをかけるとき、バックミラーに誰も映っていなかったので、何の合図もせずに始動した。
4. ロータリーが詰まったため、油圧ロックをかけた後、エンジンを停止し、作業部が完全に止まつたことを確認してから、詰まりを除去した。

- 3 次の画像は、トラクターがほ場に進入しようとしている様子です。安全対策として不十分な個所に4つ○をつけ、解答欄に書き出してみましょう。

また、どのように対策をするべきか考えてみましょう。

【 解 答 欄 】



1.

2.

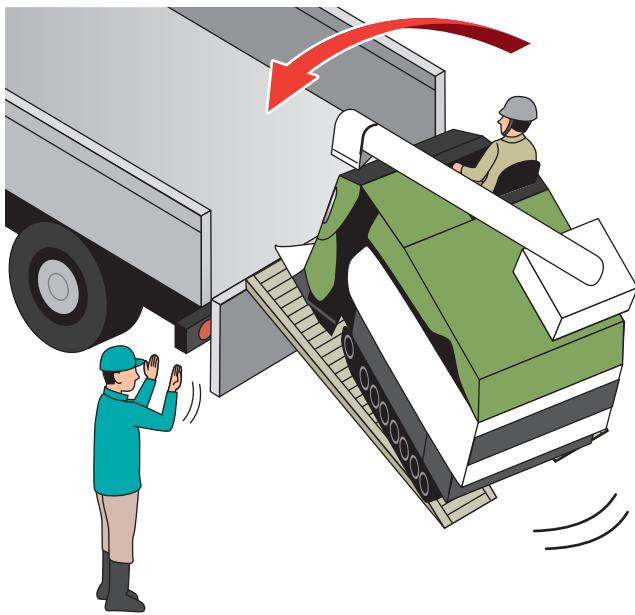
3.

4.

コンバイン

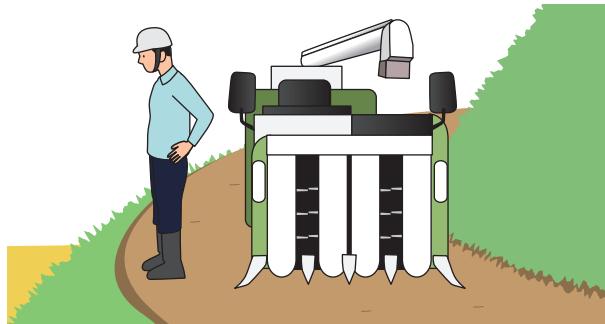
問 題

- 1 トラックにコンバインを積むときに曲がってしまったので、レバーを微調整して、進行方向を修正した。これは正しいですか、○か×で答えてください。



- 2 次は使用時の注意事項ですが、正しいものはどれですか。※正解は1つまたは2つです。

- コンバインを降りて、道幅や路肩状態を確認することは、危険なのでしないようにする。
- コンバインでバックするときには、ぶつかると危険なので、補助者による誘導や確認はさせない。
- 補助者と一緒に作業するときは、後進時に声をかける、ホーンを鳴らすなどのルールを決めておく。
- 畠の乗り越え等、段差の走行はなるべく避けるが、ごく低い段差を超える場合でも直角に進行する。



- 3 次の画像は、手こぎ作業をしているのと同時に、別の作業者がカッターの詰まりを除去している様子です。安全対策として不十分な箇所に4つ○をつけ、解答欄に書き出してみましょう。
また、どのように対策をするべきか考えてみましょう。

【解答欄】

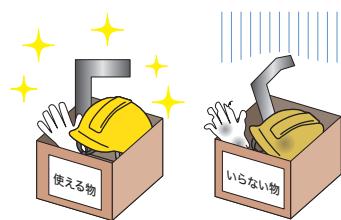


1.

2.

3.

4.



必要なものと不要なものを区別し、必要なものだけ倉庫に残しましょう

整理



必要なものを決められた場所に、決められた量だけ、いつでも使える状態に、容易に取り出せるように整頓しましょう



ゴミ、ほこり、くずを取り除き、油や溶剤など隅々まできれいに清掃することで、仕事をやりやすくし、機械の異常や設備の劣化不良など問題点が分かるようになります!

清掃

清潔

職場や機械、用具などのゴミや

汚れ、かぶっている土ぼこりなどをきれいに取り、作業者自身も身体、服装、身の回りの汚れがない状態にしましょう



4S活動に取り組んでいない場合・・・

- ・通路で物につまずいたり、油で滑るといった事故
 - ・作業準備に時間がかかり、焦りや慌てによる事故
 - ・機械の整備不良に伴う事故
 - などの事故の発生につながります!
- この機会に作業環境を整え、働きやすい環境づくりに取り組みましょう!

ヒヤリハット
共有

今すぐできる、安全対策



農業現場で起きたヒヤリハットの事例を集めて、原因・対策を考えることで重大事故を防ぎましょう!

1 事例を洗い出しましょう!

作業や農業機械の種類ごとに、5W1H（いつ、どこで、だれが、何をしたら、どうなった）を意識し、事例を書き出しましょう。

例

倉庫で従業員の一人がトラクターの点検をしている時に、作業機に潜り込んで作業し、頭をぶつけた。



2 原因と対策を考えましょう!

①人的要因②環境③機械や用具④作業方法ごとに、原因と対策を考えてみましょう。

例

- ①ヘルメットをかぶっていなかった
- ②倉庫の照明が暗く、点検箇所が良く見えなかった
- ③作業機の突起箇所にカバーがなかった
- ④十分に作業機の位置を高くあげていなかった

3 すぐに実行しましょう!

すぐに対策できるものから取り組みましょう。

例

- 作業時にはヘルメットをかぶる
- 点検時には、作業機を高い位置に上げ、スタンド等で固定してから作業する
- 突起箇所のカバーを購入する
- 倉庫の電球を更新する



ヒヤリハットを共有することで、自分だけでは気づけなかった危険個所に気づくだけでなく、日頃から危険個所を探すなどの安全意識向上につながります。家族、従業員、周辺の農業者の方々と話し合いの機会を設けてみましょう!

研修お疲れ様でした！このほか、農作業安全対策に関する資料をまとめている農林水産省のHPを是非ご確認ください。

また、研修資料の感想について、アンケートの御協力をお願いします。



農林水産省HP



アンケート